

メキシコ北東部・投資セミナー

東京，日本，2014年9月5日

本日、在日本国メキシコ大使館のエスパシオ・メヒカーノ（多目的ホール）において、プロメヒコ主催及び当大使館後援の「メキシコ北東部四州政府・投資セミナー」が開催され、日本企業約 60 社が参加した。

セミナーでは、コアウィラ、ドゥランゴ、ヌエボレオン、タマウリーパス、以上四州政府の経済産業開発局の代表者が、各州の提供する競争優位点、すなわち、絶好の地理的ロケーション、各種投資インセンティブ、整備されたインフラ、専門教育を受けた若い労働人口、日系企業のプレゼンス等についてのプレゼンテーションを行った。さらに、メキシコの自動車、法律、不動産、建築、人材派遣などの各分野の専門家 5 名が出席し、対メキシコ投資に関心のある日本企業に対して有益な最新情報を提供した。

当大使館代表は、その開会の辞で、あらゆる分野におけるメキシコと日本との良好な関係について述べ、貿易投資額の実績が過去最高の水準に達しており、絶頂期にある旨強調した。また、メキシコに進出した約 800 以上の日本企業は、墨日 E P A（2005 年発効）をはじめとする我が国の競争優位点を十分に活用しており、現政権が推進するエネルギー改革などの各種改革は、更に二国間関係を発展させるとの指摘があった。

当セミナーの開催をもって、代表団の二日間にわたる訪日プログラムが終了した。日程の初日には、アルマンド・アリアガ・オチョアテギ臨時代理大使、メキシコ経済省及びプロメヒコ駐日代表と代表団との間で懇談が行われた。そこでは、予定行事、二国間関係、そして日本の経済状況に関する意見交換が行われ、当大使館は、今次訪問の成功に必要なあらゆる支援の提供を約した。



メキシコ北東部・投資セミナーの参加者